

【現状・課題・目的】

林業の採算性を向上させ森林を健全に育成してゆくためには、伐採、搬出などの作業コストや地拵、植付などの初期投資を低減し、森林所有者の森林整備への意欲等の向上を図っていくことが重要。

☞ 低コスト作業に対する地域理解の向上と普及を目的とした取組の実施。



大型機械による地拵

【これまでの取組内容】

【平成26年度～】

① 森林施業に向けた意識の醸成

オホーツク総合振興局や西部森林室等が開催する現地検討会や各種研修会等に国有林のフィールドを提供するなどの支援を実施。

② 低コスト化に対する地域理解の向上

民有林が実施したコンテナ苗植栽試験地における工程調査に協力するとともに、各種植付用器具を貸付のうえ、植付器具毎の作業特性等を解説するなど支援を実施。



除伐木の選定



植栽手法等の説明

【平成29年度の取組内容と成果】

○ 現地検討会の開催

伐採・造林一貫作業地等において、伐採作業に使用した重機類を地拵作業等へ活用することにより、作業の軽労化やコスト低減に繋がる等のメリットや作業地の傾斜等により、重機使用が制限される等のデメリットを民有林関係者へ情報提供。



現地検討会の現場説明

○ 技術支援等の実施

民有林が開催する現地検討会等へ参加し、国有林が先行的に実施しているコンテナ苗植栽について、スペードやディプルなど従来の植栽器具や改良器具（武田式2号）を使用した植栽指導等を行い、造林作業の軽労化に資する技術支援等を実施。



コンテナ苗の植栽指導

○ 効果的な普及啓発

国有林が先行的に実施している低コスト作業の実施概要等について、オホーツク総合振興局と意見交換のうえ、これまで道内の民有林においては前例がない『伐採・造林一貫作業』の導入に向け、連携して普及活動に取組むことを確認。



民有林関係者との意見交換

【取組成果】

低コスト施業に対する意識の醸成と民有林事業地における伐採・造林一貫作業の試行的導入（紋別市私有林 約5ha）



民有林の施業予定地

【今後に向けて】

林業の成長産業化に資する様々な取組の実践と低コスト作業等のさらなる普及による地域貢献